

(8) 県立草津養護学校

所在地	〒525-0072 滋賀県草津市笠山八丁目3-111	
連絡先等	電話	077-566-0012
	FAX	077-566-0015
	ホームページ	http://www.kusatsu_yogo-sh.shiga-ec.ed.jp/
	E-mail	mb85e@pref-shiga.ed.jp
障害種別	知的障害 肢体不自由	
設置部	小学部 中学部 高等部(普通科)	
幼児児童生徒数 (R5.5.1現在)	小学部	143名 (内訳:知的障害 114名、肢体不自由 29名)
	中学部	91名 (内訳:知的障害 76名、肢体不自由 15名)
	高等部	135名 (内訳:知的障害 113名、肢体不自由 22名)
	計	369名 (内訳:知的障害 303名、肢体不自由 66名)
通学区域	大津市(粟津、北大路中学校区以南および以東に限る)、草津市	

1 本校のあらまし

本校は、大学、福祉施設などが集中している県の文化・福祉ゾーンに平成3年4月1日、知的障害児と肢体不自由児を対象とした知肢併置の特別支援学校として開校しました。

児童生徒の実態は、日常的に学校看護師による医療的ケアが必要な児童生徒や企業就労をめざす課題に取り組んでいる児童生徒等、障害の状況はさまざまです。通学区域は大津市南部(195名)、草津市全域(172名)です。粟東市は、平成19年度から野洲養護学校の通学区域に変わりましたが、今年度は、通学区域の弾力的な運用により、2名の生徒が在籍しています。また、平成9年度には、社会福祉法人びわこ学園医療福祉センター草津第一病棟に隣接する校舎が設置され、びわこ学園に入所する児童生徒が学習しています。

2 教育の方針および特色

<学校教育目標>

いのちを輝かせ

なかまと共に

豊かにたくましく

生きぬく力を育てる

本校では、すべての児童生徒が、豊かに人と関わりながら、生き生きと学校生活を送ることを大切に、将来に向け、たくましく生きぬく力を身につけることをめざしています。そのために、児童生徒一人ひとりの障害と発達の状況に応じて、個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、個に応じた実践に取り組んでいます。

小学部では、「生活リズムを整え、健康な身体をつくること」を基本として、人との関わりを大切に、自分の思いや要求を豊かに表現したり、自ら人や物に働きかけたりする力をつけることをめざしています。



授業の様子
(中学部:職業・家庭)

中学部では、「健康で丈夫な身体をつくり、基本的生活習慣の確立」をめざし、将来の社会的自立を見据えて、自分の意思や要求をしっかりと人に伝えられる力、友だちと共同して取り組める力をつけることをめざしています。

高等部では、3年間で社会的自立に向けた力を蓄え、豊かな卒業後の生活につなげていくため、青年期にふさわしい体力や働く意欲、豊かな人間性を育むことをめざし、さまざまな学習や体験的活動をおこなっています。

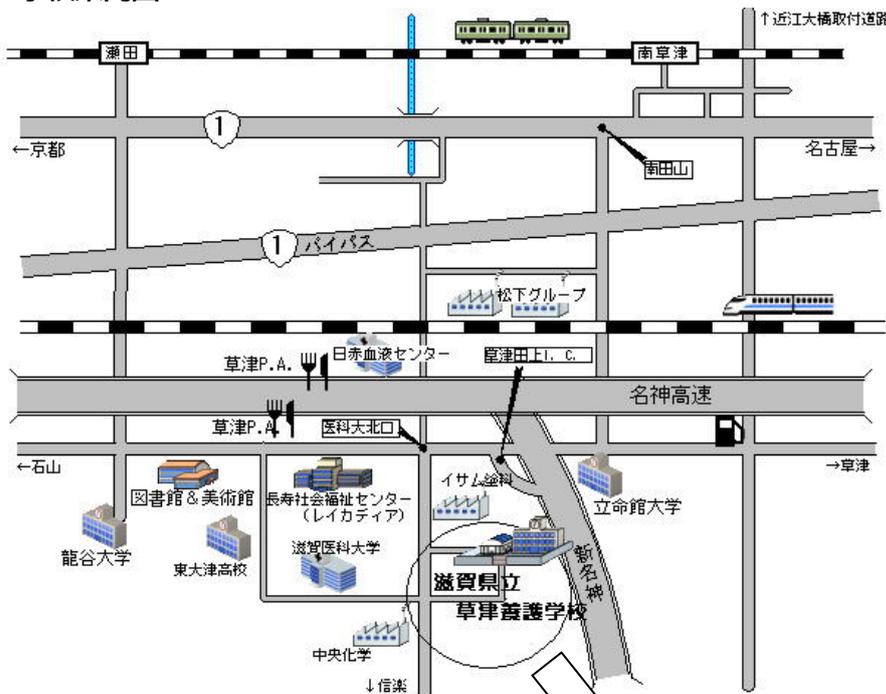


授業の様子
(高等部：美術)

びわこ学園の校舎では、社会福祉法人びわこ学園医療福祉センター草津に入所し、健康上本校までの通学が困難な児童生徒が学んでいます。

本校のセンター的機能としては、地域支援コーディネーターを中心に校区内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校を対象に巡回教育相談を実施しています。また、就学・入学相談、障害や発達についての相談等をおこなっています。その他、地域の保育士や教員を対象とした研修会も開催しています。

3 学校案内図



[交通案内]

JR 南草津駅下車

- ・ 帝産湖南交通バス 「草津養護学校行き」
- ・ 草津市まめバス 「大学病院行き」
- 草津養護学校前バス停下車

JR 瀬田駅下車 帝産湖南交通バス

- ・ 帝産湖南交通バス 「滋賀医大行き」
- 滋賀医大前バス停下車 約 1 km



4 教育相談

学 校 名	県立草津養護学校
相 談 日	随時
申 込 方 法	電話で各学部(地域支援コーディネーター担当)に申し込んでください。
相 談 内 容	<p>○就学・入学相談 地域エリアにおける保・幼・小・中の幼児、児童生徒やその保護者、関係者を対象にした就学・入学相談（学校見学、体験入学等）</p> <p>○特別支援教育巡回相談 障害や発達の遅れなどについて依頼のあった校園への訪問、巡回による相談（授業参観・諸検査の実施・個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成に関すること等）</p> <p>○障害や発達についての相談 （自立活動や発達検査等についての個別の相談も可）</p> <p>○その他 研修・講師派遣等</p>